

# 世界小型株厳選ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：世界小型厳選

2023年1月26日から2023年7月25日まで

第 9 期 決算日：2023年7月25日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額(期末)	14,158円
純資産総額(期末)	1,365百万円
騰落率(当期)	+10.2%
分配金合計(当期)	300円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

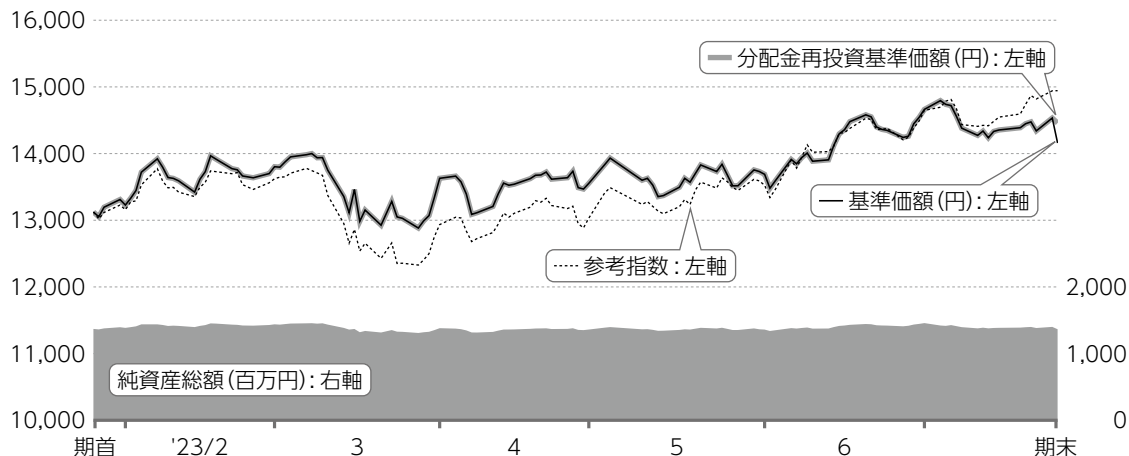
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年1月26日から2023年7月25日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	13,124円
期末	14,158円 (既払分配金300円(税引前))
騰落率	+10.2% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## 基準価額の主な変動要因(2023年1月26日から2023年7月25日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

### 上昇要因

- マザーファンドで保有している銘柄の株価が上昇したこと  
世界中でビジネスを展開する日本のスポーツアパレルメーカーのアシックスは、インドで2026年までに年間売上高1億米ドルを達成する目標を設定しているとの発表を受けて上昇しました。  
またシミュレーション技術とサービスを提供する米国のテクノロジー企業Altair Engineering Inc.は、好決算を発表したことが好感されました。
- 為替市場で米ドルを中心に主要通貨が対円で概ね上昇したこと

### 下落要因

- マザーファンドで保有している銘柄の株価が下落したこと  
アイルランドのビデオゲーム業界向け技術サービス企業のKeywords Studiosは、AIの発展によって同社の事業が打撃を受けるのではとの思惑が広がったことを背景に下落しました。  
またオランダのバイオ製品会社Corbionは、同社の食品ソリューション事業の利益率低下を背景に、市場予想を下回る弱い内容の決算を発表したことを受け下落しました。

## 1万口当たりの費用明細(2023年1月26日から2023年7月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>132円</b>	<b>0.960%</b>	<b>信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)</b> 期中の平均基準価額は13,779円です。
(投信会社)	(74)	(0.535)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(56)	(0.409)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>2</b>	<b>0.016</b>	<b>売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.016)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>0</b>	<b>0.002</b>	<b>有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>21</b>	<b>0.150</b>	<b>その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数</b> 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(20)	(0.144)	
(監査費用)	(1)	(0.006)	
(その他)	(0)	(0.000)	
<b>合計</b>	<b>156</b>	<b>1.129</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

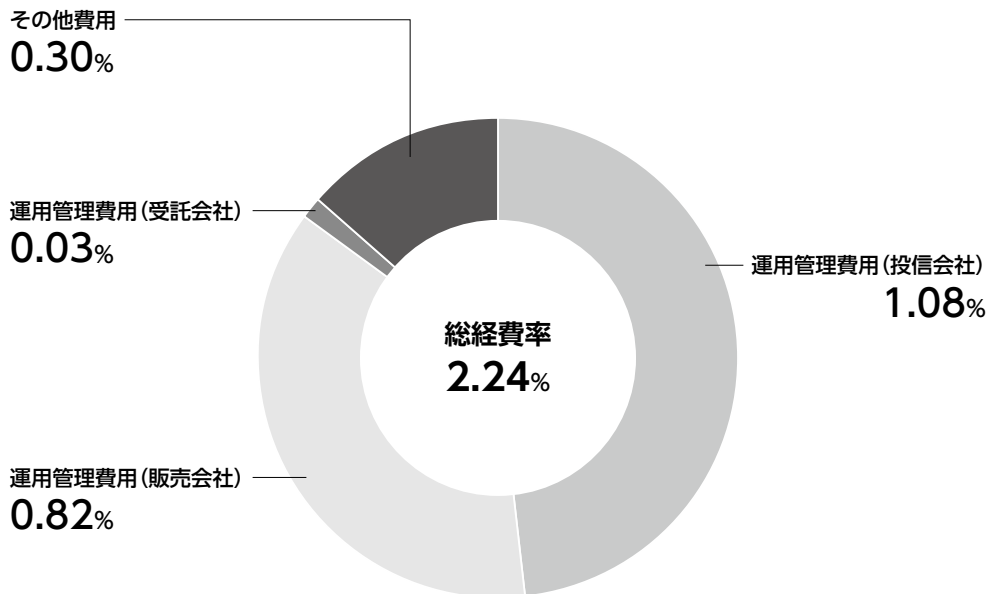
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.24%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年7月25日から2023年7月25日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2019年2月1日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2019.2.1 設定日	2019.7.25 決算日	2020.7.27 決算日	2021.7.26 決算日	2022.7.25 決算日	2023.7.25 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,925	11,889	16,703	13,160	14,158
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	250	200	1,200	0	300
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	11.8	10.7	51.6	-21.2	9.9
参考指数騰落率	(%)	—	5.7	-4.7	52.6	3.4	16.6
純資産総額	(百万円)	250	1,667	1,659	2,662	1,574	1,365

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

## 投資環境について(2023年1月26日から2023年7月25日まで)

期間におけるグローバル株式市場は上昇しました。為替市場は米ドルを中心に概ね対円で上昇しました。

### グローバル株式市場

グローバル株式市場は、前半は下落基調で推移し、後半はもみ合う展開ながら上昇基調となり、期間を通じては上昇しました。

期間の初め、グローバル株式市場は中国のゼロコロナ政策解除を受けた景気見通しの改善を受け上昇して始まりましたが、米国をはじめとする各国中央銀行の利上げ継続への懸念が台頭し軟調な地合いに転換しました。3月に入ると米国中堅銀行破綻を契機とした欧米の金融不安が台頭し、3月中旬にかけ大幅に続落する展開となりましたが、その後金融不安に対する各国政府・中央銀行の対策が好感され株式市場は落ち着きを取り戻す動きとなりました。4月、5月は発表された企業業績がまちまちであったことや、米国の債務上限引き上げを巡る議論の行方に関心が集まり、市場は様子見の姿勢となりもみ合いの展開が続きました。6月に入ると米国債務上限引き上げに関する妥協案が合意に達したことや各国のインフレ率に減速の兆しが見られたことが好感され株式市場は上昇基調となり、堅調な地合いを維持したまま期間末を迎えま

した。

### 為替市場

期間を通じて、為替市場では米ドルを中心に対円で円安が進行しました。

3月に入ると米国中堅銀行破綻を契機とした欧米の金融不安が台頭し、3月中旬にかけリスク回避の円高となる展開となりましたが、4月に入り新総裁を迎えた日本銀行が緩和的な金融政策姿勢を維持したことで円安基調は継続しました。

ポートフォリオについて (2023年1月26日から2023年7月25日まで)

## 当ファンド

主要投資対象である「世界小型株厳選マザーファンド」を期間を通じて高位に組み入れました。

## 世界小型株厳選マザーファンド

シャッター、ガレージドア、産業用ドアの製造・供給における世界的リーダー企業である日本の総合建材メーカー三和ホールディングスを新規に組み入れました。同社の成長を下支えする要因には、日本や米国における堅調な非住宅建設需要、アジア地域での事業拡大、サービス収益の正常化、鉄鋼価格の安定などと判断したためです。

また、トゥイーンズ(8歳から12歳の子どもたち)とティーンエイジャー(13歳から19歳の若者)をターゲットにした専門小売店チェーンを運営する米国のディスカウントストア・チェーンFive Belowも新規に組み入れました。対象とする年齢層は、現在のような不確実性の高い環境では魅力的な購買層であると考えています。

一方、収益見通しが不透明になったとの判断で英国のソフトウェア会社Kainos Group PLCを全売却しました。

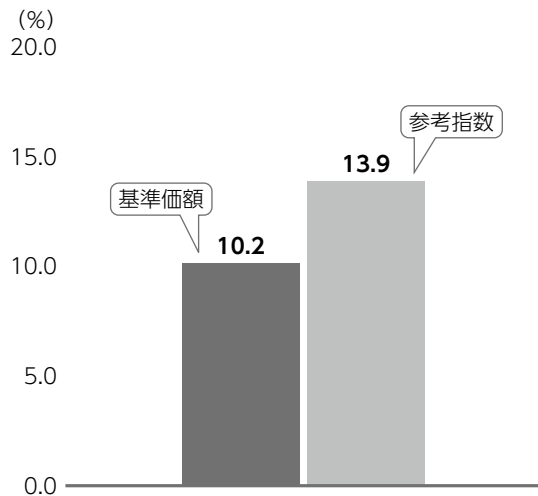
また、コスト面での向かい風や、特定の事業分野における回復が予想よりも遅れているなどいくつかの課題からオランダのバイオ製品会社Corbionを全売却しました。

米国の商用車メーカーShyft Group、米国のIT技術者向け情報提供ポータル運営会社TechTarget、フランスのカスタマーサービスプロバイダーのTeleperformanceも全売却しました。



ベンチマークとの差異について(2023年1月26日から2023年7月25日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2023年1月26日から2023年7月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第9期
当期分配金	300
(対基準価額比率)	(2.07%)
当期の収益	75
当期の収益以外	224
翌期繰越分配対象額	5,877

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「世界小型株厳選マザーファンド」への投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

### 世界小型株厳選マザーファンド

経済指標は、「2023年中に欧州経済は緩やかにセッション(景気後退)に入り、また米国経済は減速する」という市場のコンセンサス(共通認識) 予想と一致した内容になっているように思われます。当ファンドでは、欧米市場とは金融政策の方向性が異

なっている中国および日本における経済成長の兆候を引き続き注意深く見守っています。

マクロ経済の不確実性を踏まえると、予測可能な収益源や健全なバランスシートを持つ財務的に強固な企業を重視する方針を維持しています。さらに、事業見通しが改善しており、経営者が発信する考えやコメントが支援材料になるようなアーリーステージの質の高いシクリカル(景気変動の影響を受けやすい)な企業の組入比率を選択的に引き上げています。

また小型株、特に小型グロース銘柄のバリュエーション(投資価値評価)が大型株と比べて、また歴史的に見ても魅力的な水準にあることは注目に値すると考えています。

## 3 お知らせ

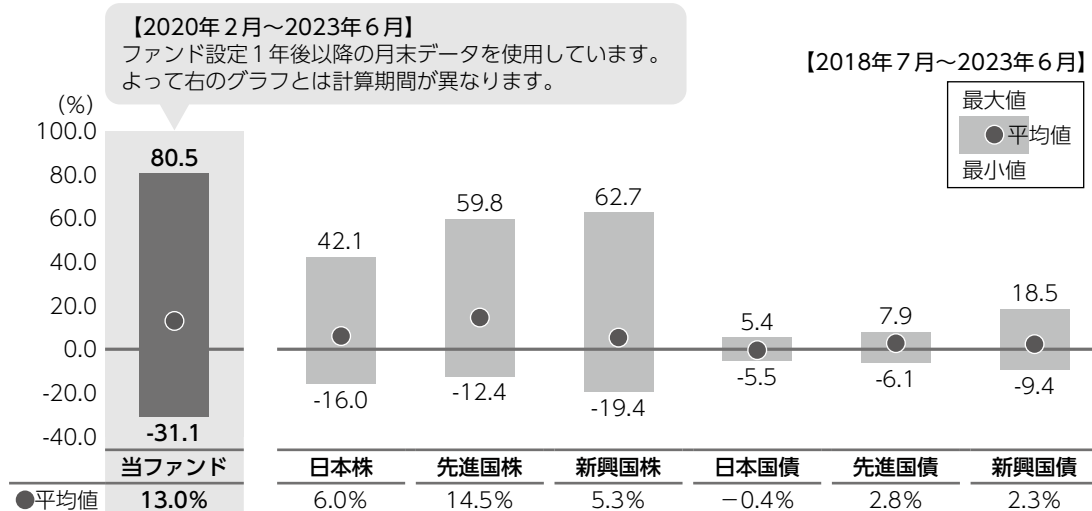
### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2019年2月1日から2029年1月25日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>世界小型株厳選マザーファンド</b> 世界の金融商品取引所に上場する株式
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式へ投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、アバディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組 入 制 限	<p><b>当ファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> <p><b>世界小型株厳選マザーファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年2回(原則として毎年1月および7月の25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	<b>MSCI コクサイ・インデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

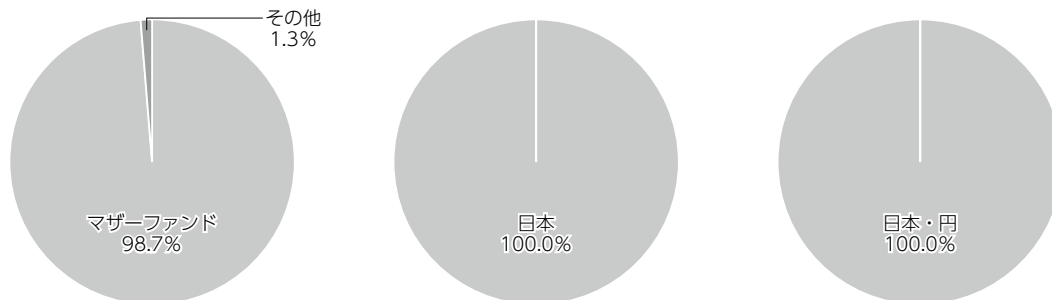
### 当ファンドの組入資産の内容(2023年7月25日)

#### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
世界小型株厳選マザーファンド	98.7%
コールローン等、その他	1.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第9期末 2023年7月25日
純資産総額	(円)	1,365,485,058
受益権総口数	(口)	964,488,674
1万口当たり基準価額	(円)	14,158

※当期における、追加設定元本額は68,832,798円、解約元本額は148,251,422円です。

組入上位ファンドの概要

世界小型株厳選マザーファンド(2022年1月26日から2023年1月25日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	内訳	金額	内訳
売買委託手数料	(株式)	8	(8)
有価証券取引税	(株式)	4	(4)
その他費用	(保管費用)	58	(54)
	(その他)		(4)
合計		69	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

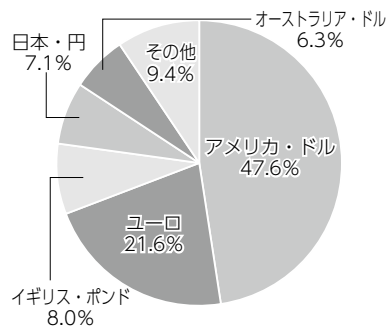
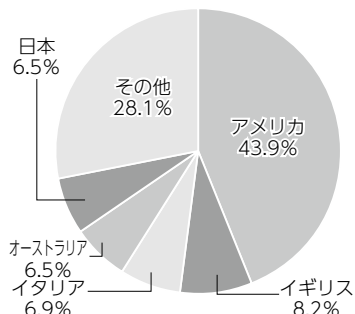
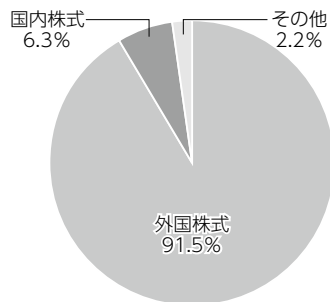
(基準日：2023年1月25日)

銘柄名	業種	組入比率
1 LATTICE SEMICONDUCTOR CORP	半導体・半導体製造装置	4.0%
2 AXON ENTERPRISE INC	資本財	4.0%
3 CTS EVENTIM AG & CO KGAA	メディア・娯楽	3.4%
4 POOL CORP	小売	3.4%
5 FINECOBANK SPA	銀行	3.4%
6 FABRINET	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.2%
7 KEYWORDS STUDIOS PLC	ソフトウェア・サービス	3.2%
8 STEADFAST GROUP LTD	保険	3.1%
9 PAYLOCITY HOLDING CORP	ソフトウェア・サービス	3.1%
10 INSULET CORP	ヘルスケア機器・サービス	3.1%
全銘柄数	46銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2023年1月25日現在です。